



かまがわ

第27号
2019.5



新病院長 夜久 均

新病院長就任のご挨拶

このたび4月1日付けで京都府立医科大学附属病院長を仰せつかりました夜久 均(やく ひとし)と申します。専門は心臓血管外科学であり、今まで当院で、多くの時間を手術室で過ごしておりましたが、これからは、もちろん手術も行うのですが、視点を病院全体に向けて、患者さん皆様に安心・安全で、なおかつ先進的な治療を受けていただけますよう鋭意努力をして参りますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

当面の目標としましては、この3月から稼働しました「永守記念最先端がん治療研究センター」が無事離陸を果たすことかと思っています。このセンターは、がんに対する陽子線治療センターで、治療は前立腺がんから始まりますが、今後は小児がんをはじめ様々な領域に広がると考えられ、当院のがん治療にさらに厚み加わるかと思ひます。

当院の基本理念であります「世界トップレベルの医療を地域へ」を実践するべく、日夜進歩する最先端の医療を、安心・安全に京都府民の皆様にお届けするべく、病院職員一同一致団結して尽力いたしますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

特集 陽子線治療について



ホスピタル・アートプロジェクト (HAPi+) で描かれた陽子線照射装置前にて(後列左から)北脇前病院長、このプロジェクト実現のためご寄附をいただいた松井秀文様、細井小児科診療部長(前列) HAPi+にご参加いただいた京都造形芸術大学の学生

もくじ

1. 特集
陽子線治療について
2. 診療科・中央部門紹介
循環器内科
3. トピックス
・産婦人科 特殊外来の開設について
・かかりつけ医を持ちましょう
・がん患者さんの就労支援について
4. 健康・予防の豆知識
・栄養 ・くすり ・臨床検査 ・病気
5. 病院からのお知らせ

基本方針

- 高度で安全な医療を提供します。
- 患者さんの権利を尊重し、患者さん本位の医療を提供します。
- すべての医療人は互いに連携し、チーム医療を推進します。
- 新しい医療を開発するとともに、未来を担う医療人を育成します。
- 京都府における基幹病院として、地域医療に貢献します。

患者さんの権利

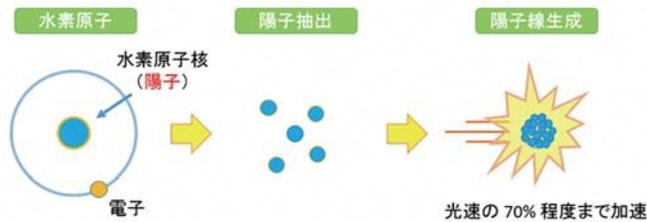
- 個人として尊重され、平等に良質な医療を受けることができます。
- わかりやすい言葉や方法で、十分な説明を受けることができます。
- 十分な説明を受けた上で、自らの意思で治療方法等を決定することができます。
- 医療に関する個人情報やプライバシーは、保護されます。
- 診療録等に記録された自己の診療内容について、情報提供を受けることができます。
- セカンドオピニオン(他の医療機関等の意見)を希望される場合は、紹介を受けることができます。



当院の高精度陽子線治療の特徴

陽子線治療とは

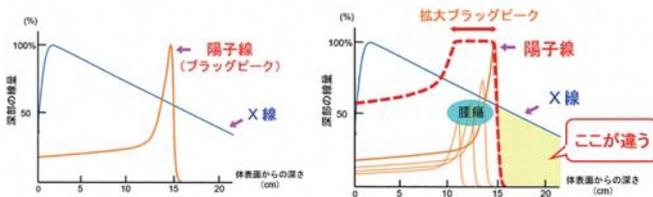
放射線の一種である陽子線を用いて行う放射線治療です。水素原子から陽子を取り出し加速した陽子の束（陽子線）を病気に当て治療を行います。



- 水素原子から陽子を取り出し、高速に加速して陽子線(陽子の束)を生成
- 生成した陽子線を病変めがけて照射します

陽子線治療の特徴

陽子線治療では、ブラッグピークという粒子線の物理学的特性を活かし、X線治療では制御困難であった深部方向への放射線の広がりを制御することが可能です。このため、線量集中性を高めた、より体に優しい治療を提供できると期待されています。



陽子線治療では、ブラッグピークを利用して線量集中性を高めた治療を提供できます。

当院の陽子線治療の特徴

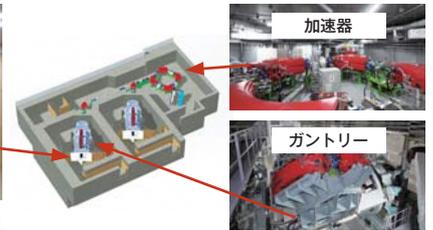
最先端技術を駆使した安全安心の有効性の高い治療を患者さんに提供します。

陽子線治療の治療室



高精度な陽子線治療により体に優しい治療を提供します

陽子線の生成・加速・射出機構



加速器

ガントリー

陽子線を加速し最適な照射を実現します

スポットスキニング法による高精細治療が可能

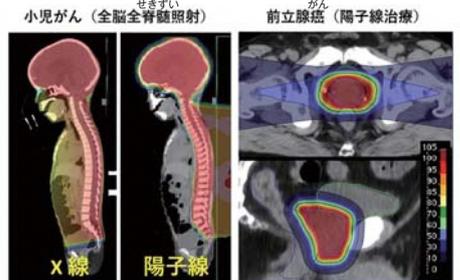
細かいビームを制御して、ピンポイントで陽子線を照射します。高精細な照射により病変に放射線を集中し、正常部位への影響を最小限に抑えます。

動体追跡技術による高精度治療が可能

体内で移動する腫瘍^{しゅよう}に対しては、腫瘍の近傍^{きんぼう}にマーカーを留置して、腫瘍の動きを監視しながら治療（動体追跡照射）を行うことで、腫瘍の様々な動きに対応した高精度な治療を提供します。

陽子線治療の特徴（ブラッグピーク）

深部方向の放射線の広がりを制御し、病変部に線量を集中することが可能です。



先進医療会議発表資料 (2015.8.3.)

“ 患者さんのニーズに応える安全安心の治療を提供します ”

当院における陽子線治療の適応疾患 (2019年4月時点)

原則的に「根治治療として陽子線治療が実施できること」が適応の条件になります。

当院で受け入れ可能な適応疾患は以下の通りです。他疾患における受け入れも現在準備を進めています。



△：提供困難な場合があります ※：マーカー留置が必要です(※のない症例に対してもマーカー留置が必要なる場合があります)

陽子線治療の適応疾患についてのより詳しい情報は日本放射線腫瘍学会のホームページをご覧ください。

受診から治療までの流れ

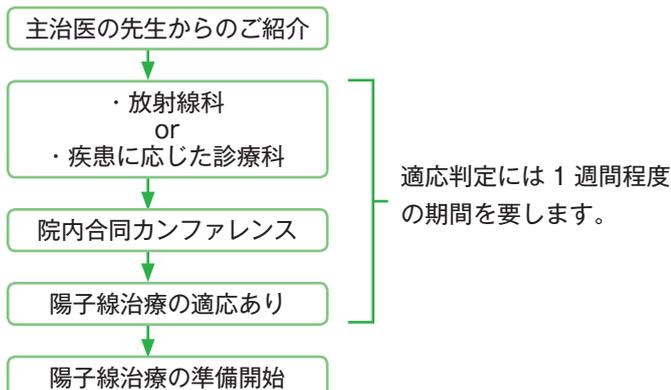
成人症例

主治医の先生から、疾患に応じた診療科あるいは放射線科にご相談、ご紹介下さい。院内合同カンファレンスで陽子線治療の適応となれば陽子線治療の準備を進めます。

小児症例

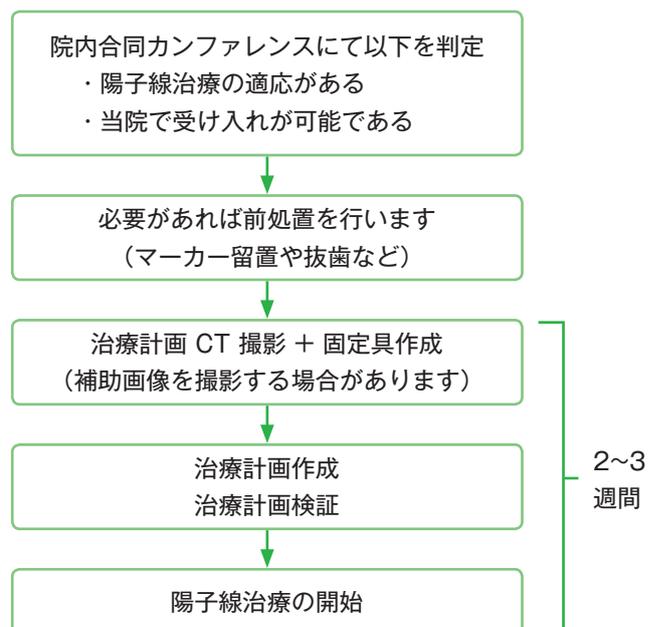
主治医の先生から、当院 HP 上の「医師専用小児がん問い合わせ窓口」へご相談、ご紹介をお願い致します。院内合同カンファレンスで陽子線治療の受け入れが可能と判断されれば治療の準備を進めます。

受診の流れ (成人症例の場合)



陽子線治療開始までの流れ

陽子線治療が適応となれば、陽子線治療の準備を始めます。陽子線治療の準備を始めて治療を開始するまでの期間は 2-3 週間になります。陽子線治療の期間は 2-8 週間程度ですが、疾患により異なります。



京都府立医科大学附属病院のホームページもご参照ください

(<https://www.h.kpu-m.ac.jp/doc/departments/proton-beam-therapy/index.html>)

◆循環器内科ってどんな病気をみるところ？

近年、動脈硬化による心臓と血管の病気が激増。歩くと胸が詰まる、足が痛む、動悸息切れが強い、などが生じます。コレステロールや糖尿病、高血圧を抑え、減塩食で腎臓機能を保つことが予防につながります。

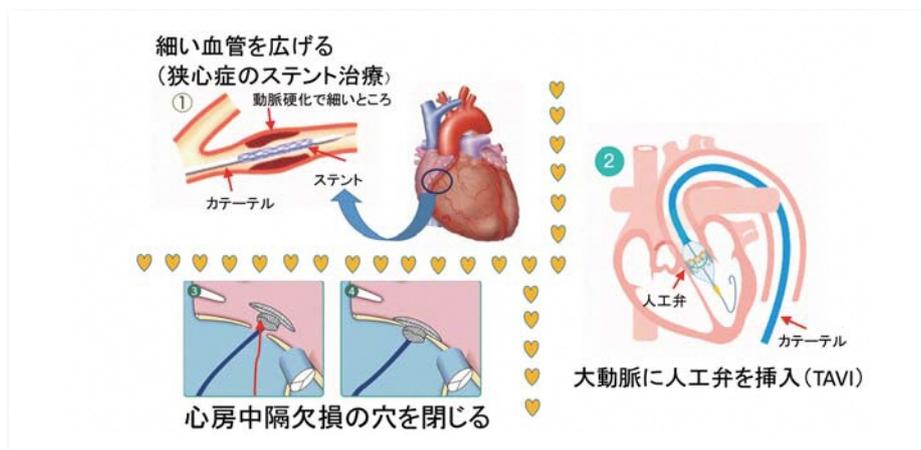
しかし、病気になれば、薬に加え、カテーテル（管状の器具）を使った様々な手術を行います。直接手をくだす外科手術とは対象が違い、協力してより良い治療を選びます。

◆カテーテル治療ができる病気

狭心症・心筋梗塞、足の閉塞性動脈硬化、慢性血栓閉塞性肺高血圧は、いずれも動脈が細く詰まる病気のため、血流の悪い部分を広げます（図①）。

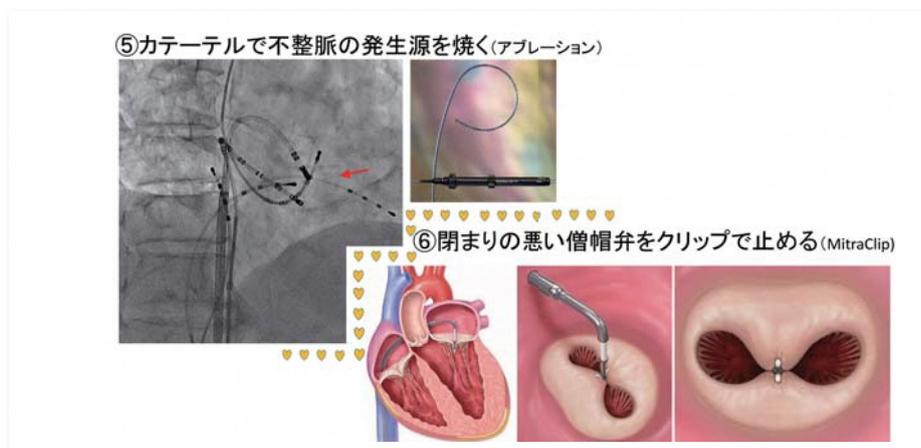
また足の重症患者さんに骨髄幹細胞移植による血管再生も行います。

大動脈弁が硬く動きにくい大動脈弁狭窄では人工弁を挿入（図②）。生まれつき心臓に穴がある心房中隔欠損も、閉じることができます（図③④）。



突然脈が速くなり動悸が激しい不整脈は、アブレーションで発生源を冷凍や高温で治療（図⑤）。

すべての心臓病が行きつく先は心不全。僧帽弁をつまむクリップ（図⑥）や、特別なペースメーカーがあります。



◆ほかにもいろいろあります。皆さんが少しでも元気な暮らしに戻れるよう、ご希望を尊重しつつ、治療を行っています。



産婦人科では、新たに以下の特殊外来を開設しました。

がん・生殖外来

曜日等：月曜～木曜午前
担当医：沖村医員



がん治療の進歩によりがんを克服する方が増えている一方で、化学療法や放射線治療のため妊娠しづらくなってしまいう方もいます。近年、がん治療の前に卵子や精子を凍結保存し、がんの治療が終わった後に妊娠できる可能性を残す方法が確立されてきました。この外来では、がんと診断された方の将来の妊娠についての相談を受け付けております。

女性アスリート外来

曜日等：金曜午前
担当医：榎村医員



学校の部活動やスポーツチームに所属する女性運動選手の、月経（生理）に関する悩みのご相談をお受けします。「生理痛がひどい」「月経前に体調が悪くなる」など月経に関連した身体の不調や、「月経が来ない（無月経）」「月経が不順」、また試合や合宿など重要な行事と重ならないよう月経の時期を調整する（月経移動）など。どのような年齢、競技レベルにも対応しています。

当科ではこれ以外に、子宮内膜症（月・火・木曜午前）、不妊（月・水・木曜午前）、腹腔鏡（水曜・金曜午前）、女性ヘルスケア（火・水・金曜午前）、腫瘍（月曜～金曜午前）、胎児超音波（火曜・金曜午前）の各専門外来を開設し、女性の健康に関するあらゆるご相談をお受けしております。

お問い合わせは女性センター外来（受付 075-251-5557）まで。



かかりつけ医を持ちましょう

- 「かかりつけ医」は、日常的な病気に関する相談、がん健診後など日頃の健康管理、診察をします。
- 病状に応じて専門治療が必要な場合には、大学病院などに紹介します。
- 「かかりつけ医」から当院を紹介してもらおうと診察の予約が可能です。
- ②番受付にてかかりつけ医の案内をしております。

かかりつけ医の案内は②番受付までお越し下さい。



がん患者さんの就労支援について

がん相談支援センターでは、お仕事についての相談に対応しています。

例えば…患者さんの病状、治療、仕事の内容、状況に応じてお仕事についての悩みや不安について一緒に考え、支援関係機関と連携して対応しています。

仕事と治療の両立についての相談*

京都産業保健総合支援センターによる出張相談
毎月第2木曜日
10時～12時（完全予約制）

お仕事探しの相談**

ハローワーク西陣による出張相談
毎月第1水曜日、第3金曜日
10時～12時（完全予約制）※祝日の場合、別日に設けています

※詳細は裏表紙の「病院からのお知らせ」をご覧ください。
ご相談を希望される場合、まずはがん相談支援センターまで。
お問合せ先

電話：075-251-5283

相談時間：月～金（祝日除く）9時から12時、13時～16時 お気軽にご相談ください。



がん相談支援センター 相談員

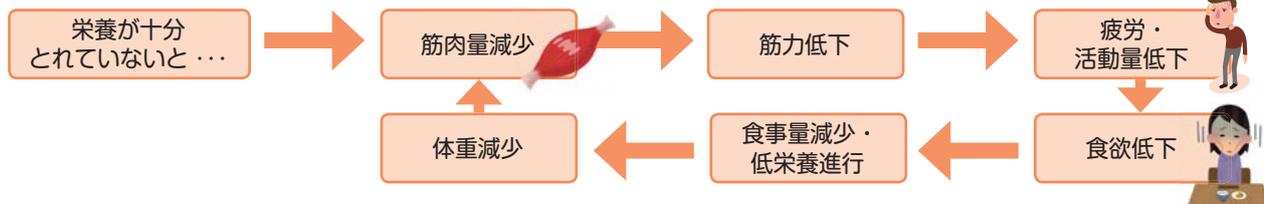
健康・予防の豆知識

栄養の豆知識

栄養管理部 連載企画 第11回

しっかり食べて、いくつになってもいきいきと活動的な生活を

高齢の方から「食が細くなった」「体重が減った」「体力が落ちてきた」という声をよく聞きます。



では、どのような食事をしたらいいのでしょうか？

栄養バランスのとれた食事のポイント

① 1日3食 主食・主菜・副菜をそろえてバランスよく

主食 エネルギー源
(主に炭水化物を含む)
ご飯、パン、めん類



主菜

筋肉や体をつくる
(主にたんぱく質を含む)
肉・魚・卵・大豆製品など

副菜

体の調子をととのえる
(主にビタミン・ミネラル・食物繊維を含む) 野菜・きのこ類・海藻類

② たんぱく質食品も十分とり、筋肉量の減少を防ぎましょう

肉 (70 g)・魚 (1切れ)・卵 (1個)・大豆製品 (豆腐 100 g) を必ず、毎食とりましょう。

特に肉や魚はたんぱく質を多く含むので、毎日欠かさず食べることが大切です。

ご飯とみそ汁だけ、めん類だけの食事では、食べているようでもたんぱく質が不足しがちです。

③ 食事が十分にとれない時は、間食でエネルギーとたんぱく質の補給をしましょう

牛乳や乳製品、サンドイッチなど手軽に食べられるものを利用しましょう。

くすりの豆知識

薬剤部 連載企画 第23回

頭痛薬の飲みすぎには注意しましょう！



片頭痛は高血圧に次いで有病率が高い病気で、日本人の約8.4%が片頭痛患者とされています。片頭痛に対しては市販薬を含めた痛み止めを服用される方が多いですが、痛み止めを頻回に使用していると、次第にお薬が効かなくなってきたり、もとの頭痛が悪化したりする場合があります。

薬剤の使用過多による頭痛、薬剤乱用頭痛

これは「薬剤の使用過多による頭痛 (Medication Overuse Headache; MOH)」, または「薬物乱用頭痛」と呼ばれるタイプの頭痛です。痛み止めを定期的に服用していて、その回数がおおむね3日に1回以上ある状態が3ヶ月を超えて続いている場合はこの病気が疑われます。

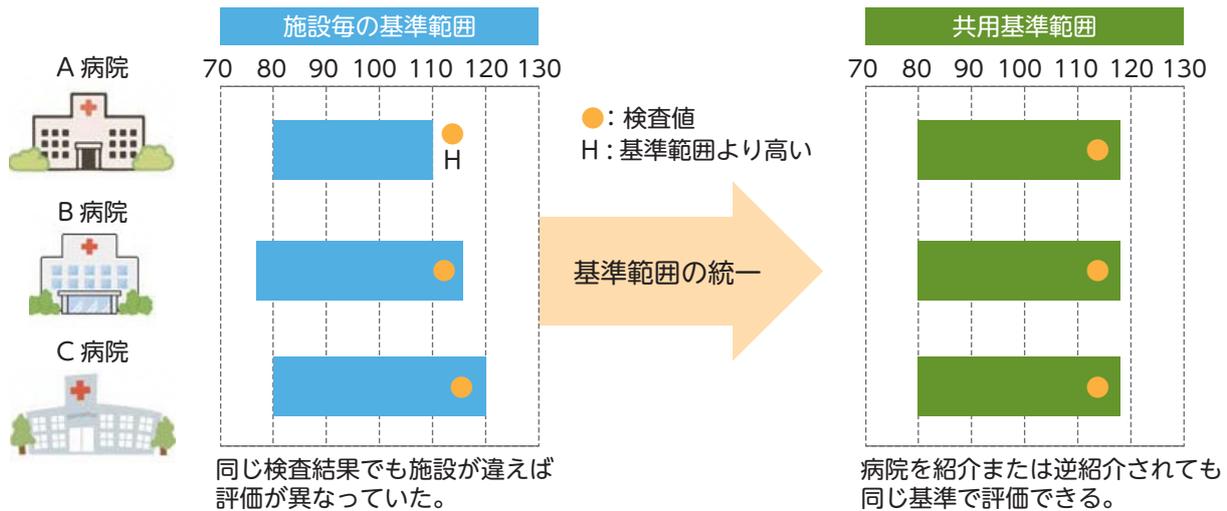


お悩みの場合は、頭痛専門医へ

心当たりのある方や普段から頭痛に悩まされている方はお近くの頭痛専門医に相談してみてもいいでしょうか？頭痛専門医は日本頭痛学会のホームページから検索できます。(http://www.jhsnet.org/ichiran.html)



- ・基準範囲とは、健康な人たちの95%が含まれる範囲を示すものです。
- ・以前は施設毎に基準範囲を設定していたため、同じ値でも施設によって評価が異なる場合があります。現在は日本全国で共通で使える共用基準範囲が広く使われるようになってきました。
- ・当院でも2016年4月から**主な検査項目（肝機能・腎機能等）は共用基準範囲を採用**しています。基準範囲の一覧表は「23 臨床検査」の受付に置いてあります。



皆さんは「くも膜下出血」という言葉を聞いたことがあるのではないのでしょうか。脳卒中のなかでも動脈にできた瘤（脳動脈瘤）が破裂して、脳とそれをつつむくも膜の間（すなわちくも膜下のスペース）に出血する病気です。突然の強烈な頭痛がくるため、患者さんは「何時何分ごろに、ハンマーで頭をたたかれたような頭痛がきました」とおっしゃいます。

脳動脈瘤ができる原因は明らかになっていませんが、体質素因や高血圧・糖尿病などの成人病によって後天的にできることがわかっています。最近では、脳ドックなどの普及によりまだ破裂していない状態（未破裂）で見つかることも多く、さらにカテーテル治療の発達で、脳を切らずに血管内から破裂を防ぐ治療（コイル塞栓術）も可能になっています。破裂してくも膜下出血になると生命にかかわることもありますので、ご心配の際は脳のドクターを受診してください。



コイル塞栓術



脳の血管撮影で動脈瘤（赤丸）がわかります。（左）

コイル塞栓術を行うと動脈瘤のなかにコイルがあって、血流が入らないため、破裂しなくなります。（右）

病院からのお知らせ

(1) イベント・講座等開催予定

事項	内容	問合せ先
1 ハローワーク京都西陣による出張相談のご案内	自分の病状、症状にあった仕事を見つけたいという方へ仕事に関するお悩みをハローワーク京都西陣の専門相談員が、皆様のご相談に応じます。 開催日：毎月第1水曜日、第3金曜日 10:00～12:00 (完全予約制・GW期間の第1水曜日は第2水曜日に設定) ご相談希望の方は、がん相談支援センターにお問い合わせください。	がん相談支援センター 電話：075-251-5283
2 京都産業保健総合支援センターによる出張相談のご案内	がんと診断されても仕事を続けたいという方へ仕事に関するお悩みを京都産業保健総合支援センターの専門相談員が、皆様のご相談に応じます。 開催日：毎月第2木曜日 10:00～12:00 (完全予約制) ご相談希望の方は、がん相談支援センターにお問い合わせください。	

京都府立医科大学へのご寄附のお願い

「ふるさと納税」による支援ができるようになりました

2018年11月から京都府を通じたふるさと納税による寄附が可能になりました。「ふるさと納税」とは、自分が応援したい自治体に寄附することにより、お住まいの自治体の住民税から控除される制度のことです。もちろん、京都府内在住の方でも利用できます。皆様からの寄附金は、次のような本学の教育・研究環境等の整備に活用させていただきます。

寄附金の使い道

教育・研究
環境の整備

国際交流事業

開学 150 周年
記念事業

寄附の方法

次のいずれかの手続きで「ふるさと納税」による寄附が可能です。

- ゆうちょ銀行・郵便局からの払込み**
専用払込用紙※にて、ゆうちょ銀行・郵便局からお支払いください。
- 銀行等からの振込み**
(京都銀行・京都信用金庫・京都中央信用金庫等)
専用の京都府納付書※にて、上記金融機関からお支払いください。
- クレジットカードによるお支払い**
以下のホームページアドレスからお申し込みいただくと、クレジットカードでお支払いができます。
<http://www.pref.kyoto.jp/fu-daigaku/news/furusato.html>

※払込用紙・納付書をご希望の方は京都府または府立医大までお申し込みください。

「ふるさと納税」で大切な手続き(寄附金控除の流れ)

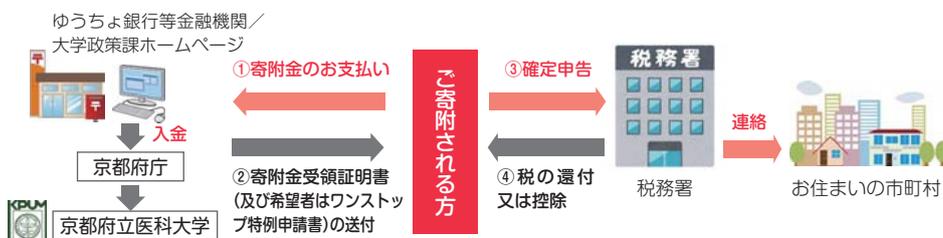
寄附額のうち、2,000円を超える部分について、一定の上限まで所得税や住民税から原則として全額控除されます。税金控除の優遇措置を受けるためには、必ず「①確定申告」を行うか、「②ワンストップ特例制度」のどちらかの手続きが必要です。

①確定申告

自営業者や一定額以上の収入がある方、医療費控除等を受ける場合は、税務署に確定申告を行う必要があるため、併せてふるさと納税の控除申請を行ってください。

②ワンストップ特例制度

確定申告が不要な給与所得者の方は、申告特例申請書の提出(5自治体まで)で住民税から控除が受けられます。



ふるさと納税に関する申込み・お問い合わせ先

京都府文化スポーツ部 大学政策課
電話：075-414-4526 FAX：075-414-4187
mail：daisei@pref.kyoto.lg.jp
京都府立医科大学事務局 総務課
電話：075-251-5210 FAX：075-211-7093
mail：soumu@koto.kpu-m.ac.jp

京都府立医科大学附属病院へのご寄附のお願い

「京都府立医大病院募金(ご寄附)」を設置しています

当院では、「京都府立医大病院募金(ご寄附)」を設置しています。

募金(ご寄附)については、患者さん一人ひとりに安全で質の高い医療を提供し、最先端の高度医療が提供できる病院として社会の期待に応えるため、患者さんへの更なるサービスの向上、高度医療の提供、がん最先端医療の充実等のような目的で使用させていただきますので、ご支援賜りますようよろしくお願いいたします。

寄附金の申し込み

募金(ご寄附)のリーフレットは1階総合案内に設置しております。【問合せ先】075-251-5246(医療サービス課：平日 午前9時～午後5時)

休診日 土曜日、日曜日、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)

初診受付時間 午前8時45分から午前11時まで

※再診受付時間は、各診療科にお問い合わせください。

敷地内は全面禁煙としております。ご理解とご協力をお願いします。

次回
2019年9月
発行予定



京都府立医科大学附属病院
University Hospital Kyoto Prefectural University of Medicine

〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路 上る梶井町 465
電話：075-251-5111 (代表)
HP：<https://www.h.kpu-m.ac.jp>